

# JOBURG EXPRESS

11月 発行 No.6

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

アフリカ大陸最南端に行ってきました！



ヨハネスブルグ日本人学校では、学習発表会の後、4日間ほどスクールホリディーという春休みがあります。

前期と後期の境目ということらしいのですが、先生方はここぞとばかりに南端のケープタウン方面に旅行に出かけます。海岸からクジラが見られるハマナス(HERMANUS)という町が人気ですが、私たちも飛行機に乗って南アフリカ第2の都市、ケープタウンに行ってきました。

そしてアフリカ大陸の最南端、アグラス岬に立ってきました。大西洋とインド洋の境目を見られるなんて!!



ケープ半島の先端はご存知『喜望峰』。バーソロミュー・ディアスやバスコ・ダ・ガマが上陸した海岸がここです。（しばらくの間、ここがアフリカの最南端と思われていましたが、本当はここから南東に150kmほど行ったアグラス岬が最南端。）半島は自然保護区になっていて、野生のダチョウもいます。海にダチョウとは、ビックリ。ケープタウンは都会的でとても美しい港町です。





ケープタウンからフェリーで30分ほどのところに、世界遺産にも登録されたローベン島があります。

アパルトヘイト時代、のちに大統領となるネルソン・マンデラ氏が投獄されていた刑務所の跡地です。

島内にはマンデラ氏が閉じ込められていた部屋や、当時の虐待の様子などが展示され、昔そこに投獄されていた人がガイド役になって苦労話を聞かせてくれます。この国に住んでいると、いたるところで人種差別の名残を感じますが、私たちは明らかに白人側にいるようです。



ケープは有名な観光地なので物価は高めですが、魚介類がおいしく、生ガキがたくさん食べられました。また、近くには有名なケープ・ペニンシュラがあり、茂みの中にペンギンがたくさんいます。娘の光はペンギンを間近に見るのが夢だったそうで、大喜びでした。



アフリカで最も早く白人が入植したケープでは、未だに黒人居住区が残っています。『ケープ・フラット』と呼ばれるこのあたりは、周囲が壁で取り囲まれ、実質的に隔離されています。

次号では私が人種差別にささやかな抵抗(?)を試みた、学校での取り組みを紹介します。

To Be Continued ! →